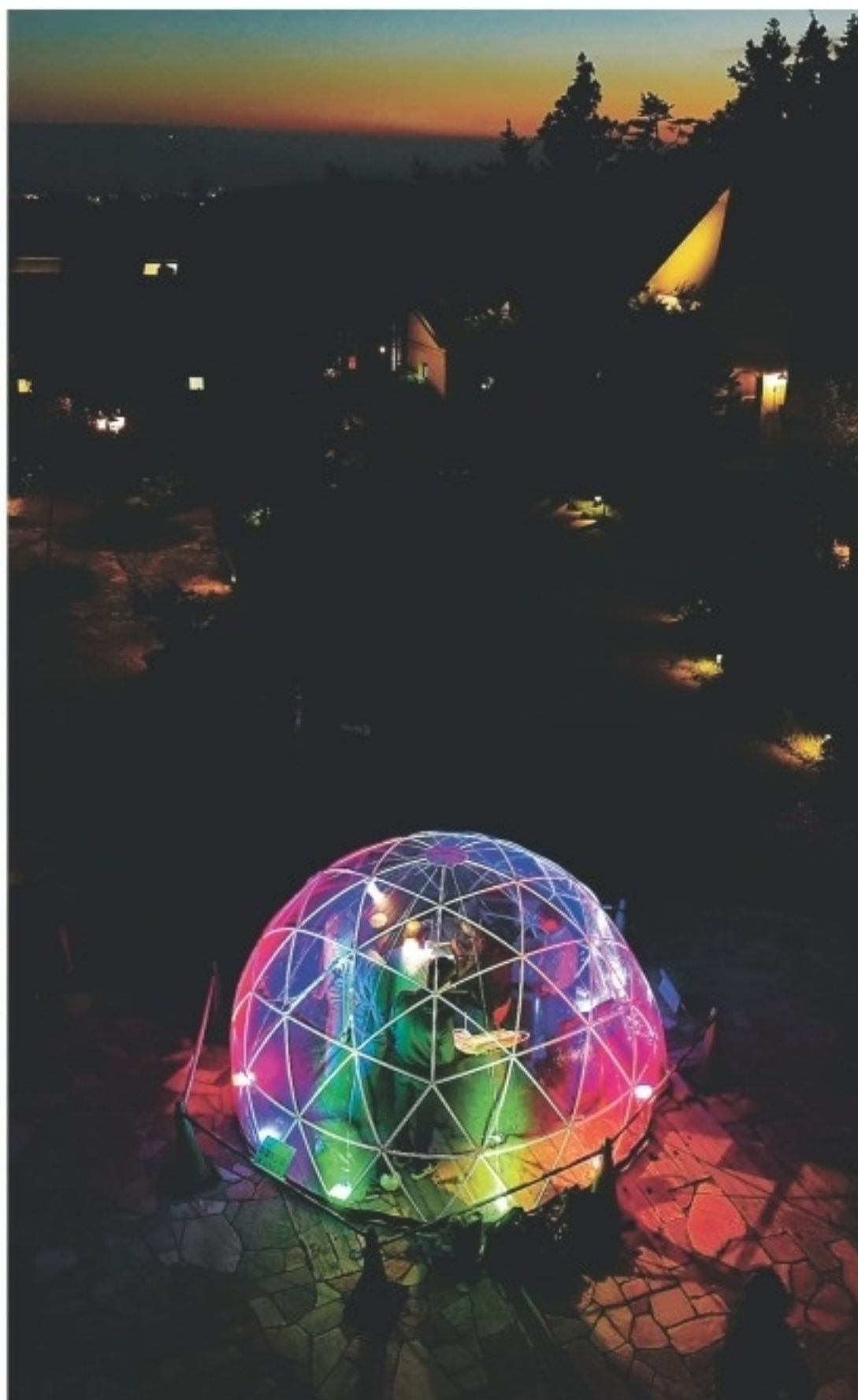


日没後の庭園で七色に輝くドーム状のテント＝神戸市灘区六甲山町



六甲山上、七色のテント

ミーツ・アート 9日開幕

六甲山上の夕闇に浮かび上がる七色のテント。自然の中に芸術作品を展示する「六甲ミーツ・アート芸術散歩2017」の準備が9日の開幕に向けて進んでいる。六甲ガーデンテラス（神戸市灘区六甲山町）に設けられた半球状のテントがこのほど、試験点灯で色鮮やかに照らし出された。

山上の展望台「六甲枝垂れ」（同）のライトアップを手掛けてきた神奈川県の照明デザイナー伏見雅之さん（52）による作品の一部。

テント内に、手を近づけたり遠ざけたりして奏でる電子楽器「テルミン」を設置。客が演奏する音に合わせて、近くに立つ「見晴らしの塔」とテントを照らす光を変化させる仕組み。伏見さんらが機材を調整すると、塔とテントが幻想的な光に彩られた。

開幕までは塔のみの照明を先行展示している。

六甲ミーツ・アート事務局 ☎078・891・0048

（吉田敦史）